

最優秀発表賞（口頭発表：1 演題 1/24 演題）

OC-I-1 奥内 蒼馬：重力がフィッツの法則成立性に及ぼす影響の運動学的評価

最優秀発表賞（ポスター発表：1 演題 1/96 演題）

PA8 稲 岳斗：運動学習における罰と報酬が学習の各段階へ与える影響

優秀発表賞（9 演題 11/120 演題）

OC-II-2 桐山 良太：打者が VR 空間で判断するボールの大きさと打率の関係 —社会人選手と大学選手の比較—

PA4 原菌 迪子：ボール追従時の頭部運動が捕球のタイミング予測にもたらす貢献

PA6 井ノ山琉人：変動を活用した運動学習方法の検証—強化学習とディファレンシャルラーニングを用いて—

PA27 山本 幸穂：女性アスリートの月経随伴症状とセルフコンパッションの関連性

PB17 渡邊 諒：野球打者の姿勢準備方略が身体重心運動のタイミング制御にもたらす影響 — 線形倒立振子モデルを用いた検討 —

PB27 山口 栞：大学生アスリートにおける Negative Capability とバーンアウト傾向の関係

PC16 藤原 由規：大学生アスリートにおける心理的安全性と自己調整学習の関連—基本的心理欲求に着目して—

PC27 田中颯太郎：Dyad practice における学習者のスキルレベルが運動学習に及ぼす影響

PC31 東 香寿美：異なる動作様式での両手協調課題における軌道のばらつき